

実践報告

平成 25 年度教員免許更新講習実践報告 —専門科目バレーボール—

The teacher's license update lecture practice report in 2013 —The special subject volleyball—

佐藤 亮輔 杉山 仁志
Ryosuke Sato Hitoshi Sugiyama

Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June,2007.

There was request from the Ministry of Education,Culture,Sports,Science and Technology and the Saitama Prefecture school board,too,in the science and it implemented a teacher's license update lecture with fourth time in this year.

In the this report ,it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year(2013)science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when.In the future,it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words：Teacher's license ,update lecture ,volleyball

I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成機関・都道府県教育委員会などであり、担当することが出来る講師は、大学の教授・准教授・講師また

は、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。¹⁾

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 4 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 25 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

II 調査方法

1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した 15 名。

2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容 4 時限のうち、4 時限目の試験を除いた 3 時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生 15 名のうち 15 名（有効回答数 100%）であった。

III 結果

1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の 5 項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近いため
- ②受講科目に関心があったため
- ③現在の教育（指導）に役立つ内容だったため
- ④本学の教員と面識があったため
- ⑤その他（自由記述）

結果、①5 名②12 名③4 名④5 名⑤5 名であった（図 1）。

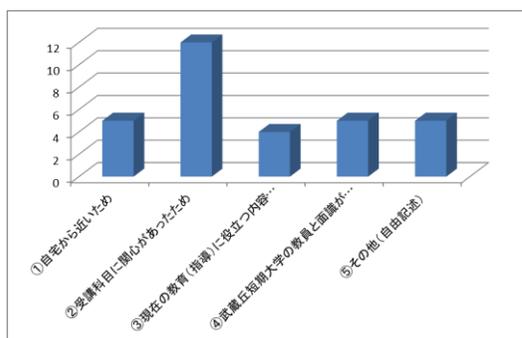


図 1 受講理由

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・同僚にすすめられた（3 名）
- ・勤務校から近い
- ・交通状況が良く行きやすかった

2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の 5 項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

1) 1 限目（講義）

主な内容：指導者の資質及び指導方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①13 名②2 名③0 名④0 名⑤0 名であった（図 2）。

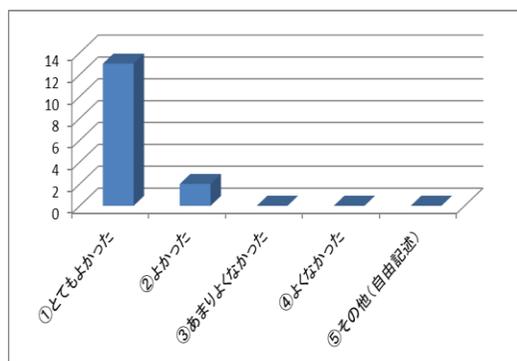


図 2 講習内容（1 時限講義）

①を選択した理由としては、「参考になった」が最も多く 11 名であった。次いで「今後の活動の中で活かしたいと思った」「話の内容が興味深かった」などであった。

②を選択した理由では、「コーチの資質がよく分かった」「ためになった」などであった。

2) 2 限目（実習・実技）

主な内容：レシーブ、トス、スパイク（3 段攻撃）における練習方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①11 名②4 名③0 名④0 名⑤0 名であった（図 3）。

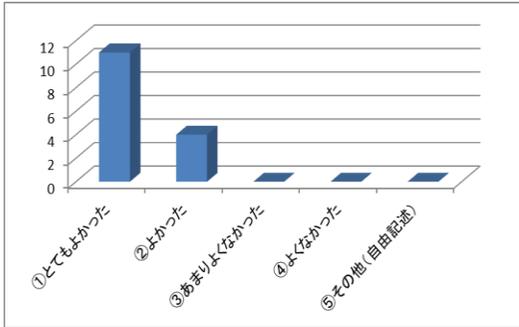


図3 講習内容 (2時限実習実技)

①を選択した理由としては、「学生が実際に動きを見せてくれたのでわかりやすかった」「分かりやすく実践的な内容だった」が最も多く4名。次いで「授業の参考になった」2名。以下「初心者向けの指導方法が参考になった」1名となった。

②を選択した理由では、「初心者向けの指導方法が参考になった」「分かりやすく実践的な内容だった」「学生が実際に動きを見せてくれたので分かりやすかった」「ボール扱いがうまくいかない生徒に対してもう一工夫が必要と思った」などであった。

3) 3限目 (講義)

主な内容：スパイクスイングにおける理論

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他 (自由記述)

結果、①10名②5名③0名④0名⑤0名であった(図4)。

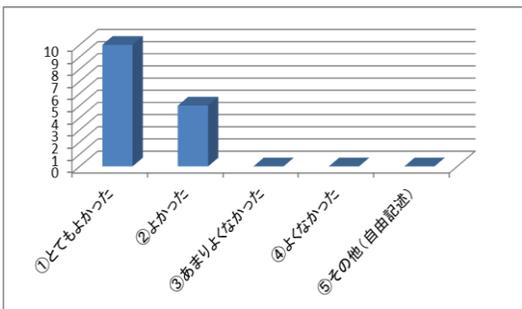


図4 講習内容 (3時限講義)

①を選択した理由としては、「大変勉強になった」「今後の指導に活かせるものであった」が最も多く4名。次いで「自分が指導にあたっている種目にも参考になった」が2名であった。

②を選択した理由では、「理論だてて解説していただいたことが大変参考になった」が最も多く3名。次いで「大学らしく専門的な講義だった」「実技の前に聞いていたら試せた」などであった。

3. 講習内容

今回の教員免許更新講習(専門科目バレーボール)を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。回答の内容は以下のとおりである。

- ・大変分かりやすく親切に指導していただきました。ありがとうございました。
- ・授業で活かせる内容だったので良かった。またバレーボールの基本的な技術、動き方等も理解でき、今まで以上に深く理解できた。
- ・資料説明、選手による実演、可能であれば実技参加、高温のため冷房の部屋用意などの配慮がありがたかった。年齢も30代~50代なので、内容をよく考えていただき大変受講しやすかった。学生のみなさん1人1人がさわやかで、自分の子どもにもそうなってもらいたいという理想となった。
- ・昼食会をはじめ様々な点でのご配慮に感謝します。大変良い講習になりました。ありがとうございました。
- ・多くの経験、豊富な知識など、これから指導していく中で活かしていきたいと思えます。
- ・とても分かりやすい内容であった。30代、40代、50代が自分の体力にあった実技講習も良かったと思う。
- ・資料も沢山用意していただき、講習、実技ともに内容が良かったと思えます。講習は興味深いお話や、実技は体育授業に取り入れることが可能なもので実践に役立つものでした。また、学生も素直で健康的な印象があり、日頃からの御指導がうかがえました。本日はお世話になりました。来年以降の免許更新者に貴校を推薦したいと思います。
- ・大変講習内容は勉強になり、今後の指導の参考になると思いました。この講習はバレーボールの指導

者ばかりではないので、あまりバレーボール技術の難しい内容はできないと思いますが、球技の中で世界でメダルを獲得している種目もありますので、日本の強化システムなども紹介して頂けたらさらに勉強になると思います。

・バレー部員を使つての実技講習は分かりやすく良かったです。ネットの高さは専門でやっていない人にとって少々高いと思われたので、もう少し低めに設定すれば参加する者としても取り組みやすかったのではないかと思います。

講習の対象が小・中・高の先生なので、ネットの高さをもう少し低めにしてもいいかなと思った。

IV 考察

アンケートから、質問項目 1 の本学で受講した理由では、「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。これは、多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあつた知識、技能を高めたいと考えていることが推察される。

次に、「自宅から近いため」については、中学・高校の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校等より自宅に近い本学を選んだことが推察される。「本学教員と面識があったため」については、その他を選んだ回答の記述において、同僚の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と何らかの関わりがあることが講習先に本学を選択した要因となつたことが考えられる。

質問項目 2 の 1) 講義 (1 限目、指導者の資質及びその指導方法) では、「とてもよかった」が最も多く、次いで「よかった」の順であった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。

質問項目 2 の 2) 実習実技 (レシーブ、トス、スパイク (3 段攻撃)) では、「学生が実際に動きを見せてくれたので分かりやすかった」といった意見が多く、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見て分かるようにしたことが評価

につながつたと思われる。また、「分かりやすく実践的な内容だった」、「授業の参考になった」、「初心者向けの指導方法が参考になった」など、今年度の講習では比較的参考になったと考える。しかし、1 件だけ「ボール扱いがうまくいかない生徒に対してもう一工夫が必要と思った」という意見があつた。教員免許更新講習の性格上、様々な分野 (高等学校や中学校、小学校) で教員をされている方が同時に受講しているため、専門的な指導法だけではなく、体育の授業としての指導法を中心にしてほしいと思っている受講者もいるであろう。このような意見が、同様の講習を続けていけば多くなっていくことも考えられるため、今後の課題として検討していく必要性を感じた。

質問項目 2 の 3) 講義 (スパイクスイングにおける理論) では、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、専門科目としてバレーボールを設定したこともあり、専門的な指導を行う上で必要な知識として、スパイクスイングに焦点を絞つて行ったことが上記の結果となつたのだと考えられる。また、学生時代は専門的に研究等を行うことができるが、教員として現場の仕事に就いたことでその時間を作れない人も多いと思われる。今回の講習がきっかけとなり、その必要性を感じてもらえれば、講習を行った意義があつたと考える。

質問項目 3 (講習全体) では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違ふが、大半は受講内容が良かったという内容であった。しかし反対に、「ネットの高さをもう少し低めに設定した方が良かった」という意見があつた。今後、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、これまでと同様の方法で実施すれば、また同じ意見が出ると思われる。少数意見ではあるが、このような意見に対処していくことも今後の検討課題である。

V まとめ

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 4 回目の教員免許更新講習を実

施した。

本報告では、今年度（平成 25 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」が多くの意見であった。しかし、少数ではあったが「ネットの高さをもう少し低めに設定した方が良かった」との要望があった。

今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必要となると考えられる。

また、「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのかといったことも検討していく必要があると考えられる。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去 3 回実施しているので、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。

本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習